

総長あいさつ



九州大学総長 有川節夫



九州大学は、人社会系・理工系・医歯薬系等の広範な領域にわたる、我が国を代表する基幹総合大学として発展を遂げ、2011年に創立百周年を迎えました。この「九大百年」に際し、これからの百年に向けて、「自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに、常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となる」ことを基本理念として、世界第一級の教育、研究、診療活動を展開し、更なる発展を進めていかなければなりません。

九州大学は、その使命と理念を達成するために、教育憲章、学術憲章を定めるとともに、中期目標として、教育分野においては、「確かな学問体系に立脚し、学際的な新たな学問領域を重視しながら、豊かな教養と人間性を備え、世界的視野を持って生涯にわたり高い水準で能動的に学び続ける指導的人材を育成すること、研究においては、「卓越した研究者が集い成長していく学術環境を充実させ、世界的水準での魅力ある研究や新しい学問分野・融合研究の発展及び創成を促進し、また、環境・エネルギー・健康問題等人類が抱える諸課題を総合的に解決するための研究を強力に推進し、国際社会・国・地域の持続可能な発展に貢献する」ことを、大学の基本的な目標として掲げています。

これらを達成するためには、九州大学の構成員一人ひとりが、自由な発想と洞察をもって、常に高みを目指し、新しい地平を切り開いてゆく絶えざる挑戦が必要です。そして、学生達の潜在的な能力の高さを信じ、学生にそのことを気付かせるアクティブな教育活動を展開して欲しいと思います。

また国立大学に対しては、政府や経済界等からより迅速に、目に見える改革や機能強化が求められています。大学に対する社会からの要請や期待に、基幹総合大学として、またそこで働く職員として自覚と誇りをもって、これらに的確かつ迅速に応えていく必要があります。平成26年度から始まる「基幹教育」をはじめ、学部・学府の専攻教育、高度な研究、診療等において、すべての職員の創意と工夫、理解と協力、積極性と実行力をもって、直面している数々の課題を解決し、新しい道を切り拓いていただきたいと思います。

このたび、教員の教育研究活動の一助とするため「九州大学教員ハンドブック2014」を刊行しました。このハンドブックには、九州大学での教育研究活動において必要となる項目が網羅されています。

九州大学における教員生活のよきガイドとして活用していただき、充実した教育研究活動を展開されることを期待します。